

# 5. 「企業市民活動推進センター」事業

— コンサルテーション、社員・組合員のV体験、NPOとのコーディネーション

「企業市民活動推進センター」(Center for Corporate Citizenship, CCC)は、日本生命財団の助成を受けて、1991年に開設。以来、「企業市民」活動（いわゆる、企業の社会貢献活動、CSR活動）の専門推進機関として活動している。

主な機能は、①CSRを含む「企業市民」活動全般のコンサルタントと研究会の開催、②社員・OB等の市民活動支援のための総合的支援・プログラム提供、③NPOと企業(人)のパートナーシップ作りのためのコーディネート、④社会的責任に関するNPO/NGOからの発信を柱に事業を進めている。

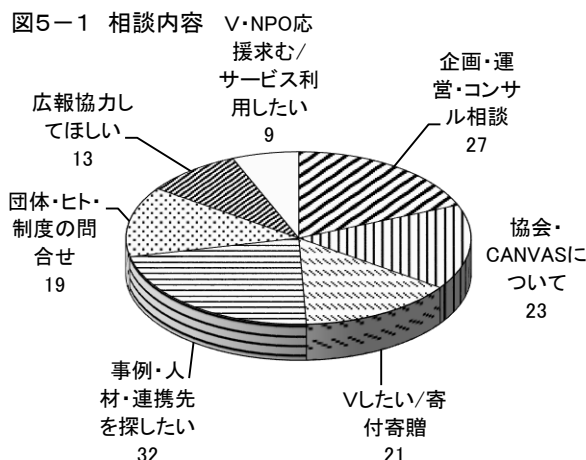
2014年度は、20周年を迎えた「フィランソロピー・CSRリンクアップフォーラム（PCLF）」の運営を、これまで以上に会員企業・団体の「参加型」と「連携」によって推進できる動きに結びつけ、フォーラムが関西になくてはならない存在となるよう、その価値を高める努力をした。

## 1. コンサルテーション事業

企業市民活動推進センターは、社員に自己実現の機会を提供し、NPOを通じて地域社会を活性化させ、企業市民活動に熱心な企業への社員や地域社会（顧客）の共感を高めるコーディネート機関・ファシリテート機関として、以下のようなニーズにそれぞれ応えている。

### （1）企業市民活動推進センターへの相談対応

2014年度にセンターが受けた相談内容を図5-1で示す。相談件数は144件（13年度109件）であった。そのうち企業からの相談は、122件（同93件）で全体の84.7%（同85.3%）を占める。労働組合からの相談は3件だった。相談内容は、大きく三分され、一つは企業等が社会貢献やCSR活動を推進するうえでのコーディネーション（つなぐ）相談（計94件=65.2%）、次に企画・コンサルティング相談（計27件=18.8%）である。このうち、コーディネーション相談の主な例は、「社員有志でボランティア活動をしたいので活動先の紹介を」「〇〇に取り組む団体に寄付をしたい」といった内容で、相談者がつながりたい相手をコーディネーターが探し、提案している。なお、「ボランティアしたい」という相談は初めて窓口を利用する企業・労組が多く、「企画・コンサル相談」などは、関係性のある企業からのものが多い。



相談内容（相談者の主訴）例	対応プロセスと結果
衣料品小売店の社員有志で、定期的に活動したい。将来的には女性と子ども支援につながる活動先を探しているが、まずは清掃活動のように気負いなくできる活動をしたい。どのように進めればよいか相談に乗ってほしい。	清掃活動については、衣料品の新商品のキャンペーンを兼ねて、社員が新商品を着用して、ごみひろいをするに。清掃活動をするにあたっての手続きなど助言した。子どもとかかわる活動は、大阪で利便性のよいところがよい、という希望があり、大阪市内の児童養護施設を紹介した。
困難な状況にある子どもたちを支援したくて、社員有志でラッフルくじのチャリティ企画を実施。集まった寄付金で、教材や文具を寄贈したい。京阪神で寄付先候補となる団体を推薦してほしい。	どのような思いで企画をしたのか、またどのような子どもたちを応援したいか、のイメージをヒアリングし、候補となる団体を4団体推薦。うち3団体が選定され、2月にサプライズプレゼントを社員から子どもたちに届けた。

### （2）企業市民活動推進の企画への助言やコンサルティング

企業市民活動推進センター（CCC）では、企業の社会貢献プログラムの企画助言や事務局受託、専門員派遣なども行っている。そのうちの一つ、助成プログラムの事務局業務は、実施企業と協会が1年間にわたり協働して取り組む。実施企業が協会に期待するのは、ボランティア・NPO推進における知見と専門性によるコンサルティング力だ。



14年度に6回目を迎えた「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」助成プログラムは、5年間の実績をふまえて今回よりプログラムを改新し（「地域活性化部門」と「社会事業活性化部門」の2部門を創設）、広く応募できるようにした。この改新に至るプロセスでは、対象となる市民団体の動向を分析したり、他企業の助成プログラムの特長を調べたり、部門を区分する必要性や意義、導入の効果予測、市民団体に分かりやすい打ち出し方や募集要項・申請書の改定など細部に渡るまで、実施企業と何度も議論を重ねた。このようなコンサルティング型協働事業の推進を得意とする強みを生かし、今後も企業市民活動推進のコンサルティングと企画づくりの応援をしていきたい。

### ① 市民活動団体への助成プログラムの事務局受託

実施企業	業務内容	業務概要
積水ハウス(株)	「マッチングプログラム」(第10回)の助成事務局受託およびアドバイザー就任	市民活動団体への助成プログラムの協働事務局を受託。アドバイザーに水谷事務局長が就任。プログラム助成に19件、基盤助成に6件に総額2278万円を助成。
阪急阪神ホールディングス(株)	第6回「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」助成プログラムの助成事務局受託	09年度から開始した「未来のゆめ・まち基金」市民団体助成プログラムの助成事務局を受託。設計や選定事務に協力。10団体(地域活性化部門5件、社会事業活性化部門5件)に総額600万円を助成。

### ② 企業と市民活動団体の協働事業の広報協力受託【新規】

実施企業	業務内容	業務概要
阪急阪神ホールディングス(株)	阪急阪神未来のゆめ・まち基金「ええまちづくり隊」広報協力	「未来のゆめ・まち基金」の過去助成団体と協働して取り組む「ええまちづくり隊」の広報に協力。活動希望者層へのPRや支援センター等へ周知、マスコミへのプレスリリース協力などを行った

### ③ 社員ボランティアの活動コーディネートの企画受託【新規】

実施企業	業務内容	業務概要
大日本住友製薬(株)	「大日本住友製薬株式会社10周年記念社会貢献活動」のコーディネートに関する業務受託	2015年10月1日に合併10周年を迎えるにあたり、記念事業として社会貢献活動を計画。協会は福祉に係わる活動のプログラムコーディネートを企画受託。2014年度は全体設計の企画相談に応じ、2015年度の本格展開に向けた準備期間とした。

### ④ 労働組合のボランティア講座の企画受託

日程	実施団体	講座内容	プログラム数	参加人数
5月30日～6月1日	キリングroup労働組合協議会	①手話入門体験、②車いす体験、③視覚障害者の理解と手引き体験、④施設活動体験、⑤ボランティア講座の5プログラム	5	のべ85人

## 2. 教育・研修・研究事業

### (1) 社員向けボランティア講座の受託開催、および企業関連の講師派遣依頼

2014年度にセンターが企画・進行全般の委託を受けた講座件数はのべ5件(13年度6件)だった(前述(2)③)。また、企業や労働組合等からの講師派遣依頼は5件(同4件)あり、企業市民活動やCSR等のテーマでの依頼は6件(同1件)だった。

### (2) 「フィランソロピー・CSRリンクアップフォーラム(PCLF)」の企画運営

フィランソロピー・CSRリンクアップフォーラム(PCLF)は、企業の社会貢献担当者やCSR担当者が2か月に1回、CSRやフィランソロピーにまつわるトピックスについて学び、議論を行うフォーラム。2014年度のPCLFは、定例フォーラム全6回のうち、約半分程度は年度テーマ「CSV(Creating Shared Value)とCSRの関係を探る」を徹底的に学ぶことにした。年度テーマを設けることやテーマを何にするか、講師を誰にするか、などの企画は、幹事会を中心にフォーラム会員自らが企画を進めているのが特長である。

#### ① 2014年度の会員企業・団体

14年度の会員企業・団体数は39社・団体(13年度40社・団体。顧問・当協会含むと44)で、企業31社、中間支援NPO8団体であった。

【企業(31社)】 ※幹事会員(7社)は★印

伊藤ハム(株)、(株)インサイト、SCSK(株)、(株)NTTデータ関西、大阪ガス(株)★、大阪商工信用金庫、オムロン(株)、(株)カネカ、関西テレビ放送(株)、関西電力(株)★、(株)関西マ



初合宿(10月)でじっくり語らう

ガジンセンター★（9月末迄幹事）、近畿労働金庫、(株)神戸製鋼所、(株)シータス&ゼネラルプレス、シャープ(株)★、住友生命保険(相)★、積水化成工業(株)、積水ハウス(株)★、ダイキン工業(株)、大同生命保険(株)、(株)高島屋、田辺三菱製薬(株)、西日本高速道路(株)、西日本旅客鉄道(株)、日東電工(株)、日本テクノロジーソリューション(株)、パナソニック(株)、(株)阪急阪神百貨店★（8月から幹事）、阪急阪神ホールディングス(株)、(株)マンダム、三菱商事(株)関西支社

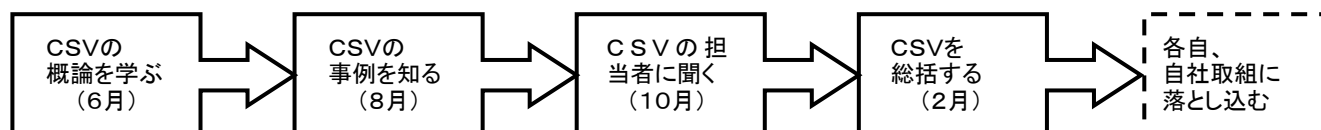
【中間支援NPO（8団体）】(社福)大阪市社会福祉協議会、(社福)大阪府社会福祉協議会、(特活)関西NGO協議会、(特活)ジャパン・プラットフォーム、(特活)トゥギャザー、(特活)日本NPOセンター、(社福)兵庫県社会福祉協議会ひょうごボランティアプラザ、(公財)ひょうごコミュニティ財団

※2013年度末で退会したのは、(株)日立製作所 関西支社の1社。

## ② 定例フォーラム

14年度の定例フォーラムも偶数月に開催し、年6回、のべ参加者数は313人（13年度は294人。協会・講師等を含む）であった。CSVを徹底的に学ぶとともに、座学で初の合宿（10月）を開催し会員の親睦を深めた。

また、フォーラムの運営では、幹事会メンバー以外の会員企業に会場を提供してもらったり、新入会員プレゼンテーションを行ったり、会員企業・団体の出番を増やすよう取り組んだ。



回	テーマ	登壇者名	日程	参加者数	会場
37	社員のボランティア活動促進と活性化のコツ～会員企業の実践からひもとく	・話題提供：林由以子（大阪商工信用金庫）、山科圭子（住友生命保険(相)）、宮澤佳代（パナソニック(株)エコソリューションズ社）	2014年 4月8日	49人 (27社・団体)	積水ハウス(株)会議室
38	CSVとCSR～その本質と展望～	・講師：國部克彦（神戸大学大学院経営学研究科長・教授）	2014年 6月13日	54人 (27社・団体)	大同生命保険(株)大阪本社会議室
39	ソーシャルプロダクトとは～求められる背景・現状・課題～	・講師：中間大維（(一社)ソーシャルプロダクト普及推進協会専務理事・事務局長） ・事例報告：代島裕世（サラヤ(株)）、暮部達夫（(株)クレコス）	2014年 8月5日	56人 (29社・団体)	(株)マンダム本社ビル会議室
40	①キリンのCSVの取り組みについて～CSV推進の実践に学ぶ	・講師：太田健（キリン(株)CSV本部CSV推進部企画担当主幹）	2014年 10月3日	33人 (18社・団体)	大阪ガス奥池ロジック大研修室
	②教えて！先輩	・指南役：先輩の皆さん			
	③5～10年後のために企業のCSR担当は今何をすべきか～CSVを念頭に置きながら	・講師：倉光弘己（芦屋大学経営教育学部教授）	2014年 10月4日	28人 (17社・団体)	
41	災害時、CSR・社会貢献活動として取り組めること～災害支援活動の実践報告をふまえて	・報告者：明城徹也（(認特)ジャパン・プラットフォーム国内事業部長）・報告者：水谷綾（大阪ボランティア協会事務局長）	2014年 12月9日	42人 (23社・団体)	大阪ガス御堂筋東ビル(OM Eビル)ホール
42	CSVとCSR 自社取組にどう落とし込むか～CSRの最新トレンドをふまえて	・講師：森撰（(株)オルタナ代表取締役社長・編集長）	2015年 2月10日	51人 (26社・団体)	近畿労金 ろうきん肥後橋ビル

## ③ フォーラム自主ゼミ「リンクアップ・ジュニア」の開催

リンクアップフォーラム会員企業の「若手」担当者の自主勉強会。参加団体は16社で参加者数20人（昨年同期15社22人）。計5回開催、のべ参加者数は18社19人（昨年同期30社35人。協会含む）。

- ・第71回（2014年5月8日）「大阪商工信金社会福祉賞 表彰式」 ・参加者：4人（4社・団体）
- ・第72回（2014年9月9日）「『阪急阪神 未来のゆめ・まち基金』助成報告会」 ・参加者：6人（6社・団体）
- ・第73回（2014年9月11日）「『阪急阪神 未来のゆめ・まち基金』助成報告会」 ・参加者：3人（3社・団体）
- ・第74回（2014年9月17日）「大阪ガス 社会貢献フォーラム2014」 ・参加者：3人（2社・団体）
- ・第75回（2015年2月28日）「JVCC2015大阪」（実行委員として2名が参加） ・参加者：3人（3社・団体）

**④（公財）日本フィランソロピー協会とのタイアップ企画の開催**

（公財）日本フィランソロピー協会・関西セミナーの新春特別企画「笑いを通じて人々に元気を」の開催にあたり、フィランソロピー・CSRリンクアップフォーラムと協会は開催協力団体となり、積極的に広報協力を行った。

- ・日 時：2015年1月19日（月）18時30分～20時30分 ・会 場：大阪ガス(株)本社ガスビル3階ホール
- ・内 容：笑福亭鶴笑師匠によるお話「地上に平和を人に笑顔を」とパペット落語 ・参加者：53人

**⑤「リンクアップフォーラム幹事会」の開催**

フィランソロピー・CSRリンクアップフォーラムの参加型運営の要となる同幹事会に、新メンバーを1人迎え、運営の活性化を図った。また、参加が遠のいている会員に幹事会メンバーから働きかけて参加を促した。

- ・日 程：[幹事会] 2014年4月25日、6月16日、8月28日、10月14日、11月25日、  
2015年1月22日、3月26日、計7回 [合宿企画ワーキング] 2014年6月30日、計1回
- ・内 容：定例フォーラムの企画運営、会員企業・団体へのフォローと新入会員勧誘、パンフレット改定等
- ・メンバー：大阪ガス(株)、関西電力(株)、(株)関西マガジンセンター、シャープ(株)、住友生命保険操(相)、積水ハウス(株)、(株)阪急阪神百貨店、大阪ボランティア協会/事務局

**(3) CRM（コースリレーティッドマーケティング）研究会の開催**

CCC運営委員会を母体とした研究部会（座長：楠正吉、メンバー9人、事務局1人）。NPO・NGOと企業の双方に対し、CRMを実践する際の課題を、中間支援組織の立場ならではの視点を検討することを目的に設置。14年度は、13年度に日本NPO学会でパネル発表した成果を受けて、新たに2回研究成果を報告する機会を得た。また、研究会は4回開催した。これらを通じて、大学研究者などの新メンバーも拡大できた。

**① 研究会の開催**

- ・テーマ：『コース・リレーティッド・マーケティング 社会貢献をマーケティングに活かす戦略』（世良耕一著）を題材図書とし、CRM研究会の見解と共通点、相違点について研究。
- ・日 時：2014年7月28日、9月30日、2015年1月22日、3月31日の計4回開催。

**② 他の研究会での報告**

日本NPO学会でのパネル発表の成果を受けて、NPO研究フォーラム等の東西2回で報告する機会を得た。

- ・テーマ：CRM（コース・リレーティッド・マーケティング）による企業とNPOの新しい協働のカタチ
- ・日 時：2014年6月22日（日）NPO研究フォーラム・会 場：大阪大学豊中キャンパス国際公共政策研究科
- ・日 時：2014年11月8日（土）市民社会研究フォーラム ・会 場：大阪大学東京オフィス
- ・報告者：楠正吉（積水ハウス(株)、CCC運営委員、CRM研究会座長）

**(4)「ウメキタ朝ガク（うめきたソーシャル朝活）プロジェクト」の開催支援**

梅田周辺で働く人々がその生活圏である地で、新しい社会貢献・地域貢献を創り上げるための交流の場づくりとして「ウメキタ朝ガク（うめきたソーシャル朝活）」を開催。積水ハウス、大阪ガス、パナソニックなどの協力を得て、緩やかなネットワーク体で企画を実施。当協会は、当ネットワークの事務局を担っている（企画連携：大阪を変える100人会議、会場提供：大阪ガス(株)エネルギー・文化研究所 都市魅力研究室）。



ウメキタ朝ガクの様子

回	テーマ、登壇団体名	日程	参加者数
9	木のある暮らしがオシャレ？～国産木材活用の現状と日本林業の危機(産経新聞)	2014年4月24日	15人
10	「天下の台所」、「食の都」大阪の食文化・復活宣言((株)ぐるなび)	2014年5月22日	28人
11	知っていますか？『やさしい日本語』(大阪ボランティア協会)	2014年6月26日	30人
12	イクボスが増えれば社会が変わる!?(ファザーリング・ジャパン関西)	2014年7月24日	28人
13	5分でできる笑顔のコミュニケーション((特活)日本クリニックラウン協会)	2014年8月28日	26人
14	小児がんと闘う家族の想いから実現した夢の治療環境((特活)チャイルドケモハウス)	2014年9月25日	20人
15	自立心を持つ学生の見つけ方、育て方、付き合い方((特活)JAE)	2014年10月23日	23人
16	地域と企業がつながる仕事の考え方((株)シーズクリエイト)	2014年11月27日	20人
17	身近な国際交流とは？(ワンワールドフェスティバル実行委員会)	2015年1月22日	27人
18	世界をつなぐ、おいしい絵文字((特活)インターナショナル)	2015年2月26日	23人
19	エネルギー自由化、夜明け前((株)大阪ガス)	2015年3月28日	18人